

Illustrator バージョンごとの差違

Illustrator 9.0/10/CS/CS2/CS3/CS4/CS5

Illustrator 9

- RGB モードのサポート、カラーモードの変換
- 透明（不透明度と描画モードのサポート、不透明マスク）
- 効果
- アビアランス
- キーボードショートカットのカスタマイズ機能
- 強化されたレイヤー（オブジェクト単位）
- [なげなわ選択ツール]
- パスの単純化
- フォントの埋め込み
- スタイル
- [Web 用に保存] ダイアログボックスによる最適化書き出し（Web 向け）
- ピクセルプレビュー（Web用にラスタライズされたオブジェクトの外観を確認）

Illustrator 10

- ライブ変形機能（エンベロープ、ワープ、リキッド）
- 7つのリキッドツール
- 新しい描画ツール（直線、円弧、グリッド、同心円）
- シンボル機能
- [シンボルスプレーツール]
（密度、サイズ、向き、色、透明度、オブジェクト間の距離などを制御）
- スライス機能
- 複合シェイプ（パスファインダーの一時的処理）
- スライス機能の強化（スライスごとに異なるフォーマットを適用可能）
- 紙色のシミュレート
- データ駆動型グラフィックス
- 小塚フォントのバンドル
- [分割プレビュー] パレットで透明度を持つオブジェクトを確認

Illustrator CS

- アイコンの変更（女神が消えました）
- 新しいプリントインターフェイス
- テキスト組版エンジンの再設計（自動カーニングおよび文字詰め）
- 基準値の変更（行送りの基準値：「120%」から「175%」に、文字揃え：「欧文ベースライン」から「中央」に）
- 合成フォントのサポート
- WYSIWYG フォントメニュー
- OpenType のフルサポート（異体字へのアクセスなど）
- 最近使用したフォント（[文字] メニュー内）
- 歯（H）のサポート
- スタイル機能（文字、段落）
- 3D 効果
- 落書き効果（←「ハッチ効果」の強化）
- Microsoft Office 用に保存（150dpi、透明設定なしの PNG 形式で保存）
- カスタムタブリーダー
- パス上文字オブションの強化
- テンプレートファイル形式（.ait）のサポート
- スタートアップ画面の導入
- [変形] パレットに[縦横比を固定]（ロック）ボタンが追加
- PDF 書き出しの強化（PDF1.5 サポート、セキュリティ設定、「Acrobat 6 レイヤー付」）
- XMP（eXtensible Metadata Platform）のサポート
- Photoshop データとの互換性（レイヤーを保持、透明度の設定、描画モードも継承）
- 手のひらツールでドラッグする際のリドローの改善（ドラッグ中にはビットマップとして扱う）

Illustrator CS2

- ライトトレース
- ライブペイント
- 線のカスタム位置（中央のほか、内側／外側をサポート）
- テキストへの下線と取り消し線のサポート
- コントロールパレットの採用
- ワークスペースの管理（パレット位置の保存と呼び出し）
- PDF/X への書き出しサポート（別名で保存）
- ドラッグ & ドロップによる画像配置のサポート（複数画像も OK）
- Bridge からのドラッグ & ドロップによる画像配置のサポート
- Photoshop のレイヤーカンブのサポート
- Adobe Stock Photos（ただし、2008 年 4 月に終了）
- アクティベーション（オンライン認証）の導入

Illustrator CS3

- 「パレット」が「パネル」と呼ばれるように
（ex. 「コントロールパレット」→「コントロールパネル」）
- アイコンの変更（元素記号みたいなアイコンに）
- 新規ドキュメントのプロファイル
- アイコンパネルの導入
- ライブカラー
- カラーガイド（カラーグループをスウォッチパネルにエクスポート）
- トリムエリアツール
- 消しゴムツール（ベクトルのエリア、パスの消去などが可能）
- グループ編集モード
- レイヤーパレット上にレイヤーカラーを表示
- アンカーポイントの整列
- アンカーポイント選択時の強調
- インライン入力の切り替え
- 9 スライスの拡大・縮小のサポート
- Flash との連携（[Flash テキスト] パネル内で、「静的テキスト」「動的テキスト」「テキスト入力」が選択可能に）
- Device Central CS3 との連携
- 配置画像へのマスクの設定
- [フィルタ] メニューの [カラー] が、[編集] メニューに移動。
パターンやグラデーションのグレースケール化も可能に。

Illustrator CS4

- [フィルタ] メニューの撤廃
- 複数のアートボードのサポート
[アートボードツール]、アートボード定規
- [塗りブラシツール]
- グラデーションの強化（UI の変更、楕円のグラデーション）
- 色盲のシミュレーション
- Kuler のサポート
- ローカライズ（アレンジ→重ね順、スタイル→グラフィックスタイル）
- [スクリーンを共有]（Adobe ConnectNow を使用してスクリーン共有）

Illustrator CS5

- 遠近感グリッド、遠近グリッドツール
- 標準描画／背面描画／内側描画
- 透明グラデーションメッシュ
- パスの連結：選択ツールのままで実行可能
- 絵筆ブラシ
- シェイプ形成ツール
- 線幅ツール
- Web 向け（ピクセルグリッドに整合、テキストアンチエイリアス OFF）
- ローカライズ（「パスファインダー」など“音引き”がついた）
- 2 バイトでの文字入力が可能に
- ルーラ（定規）の基点（原点）が左上に
- 「トリムマークを作成」フィルタが正式に復活
- command+ クリックで背面のオブジェクトを選択
- 複数のアートボードの強化
[アートボード] パネル、[すべてのアートボードにペースト]、複数のアートボードを個別の AI ファイルに保存